



令和3年4月



## 袖ヶ浦公民館講座によるこそ

第1号 編集 楠元 繁

現代社会の私たちは自然と触れ合う機会が非常に少なくなっています。花屋さんでは何時も綺麗な花が売られていますが。私たちの身近にある草や木には、いつ花が咲き、いつ実が生るか、四季の変化にも気付かずに過ごしています。

動物と植物は切っても切れない関係にあり、私たち人間も植物なしでは生きていけません。私たちの生活の源泉である植物を公園や緑地でもう一度見直してみませんか。健康のため、知識を深めるため、これから1年間、皆さんと共に草や木の四季の移り変わりを観ることに致します。

### 4月のテーマ「木の花いろいろ」どうして？

下記の樹木は年間を通して観察することにします。



ソメイヨシノ



クロマツ



コナラ・マテバシイ・カイズカイブキ



ケヤキ



ヤマモモ



シンジュ



クヌギ



アキニレ

写真の樹木は3年前に撮影したものです。現在との変化を観察しましょう。

風で花粉を飛ばす…風媒花植物（スギ、クヌギ、マツなど）

虫に花粉を運ばせる…虫媒花植物（ミカン、バラ、クリ、サカキなど）

蜜で鳥を誘う…鳥媒花植物（ツバキ、ウメ、サルビアなど）



次回は5月26日（水）です。

袖ヶ浦公民館「はっぴの会」